

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	4	教えて、あなたのこと	1 話・聞①	◎楽しみながら、インタビューをしたり人物紹介をしたりすることができる。(話・聞(1)イ)	・友達を紹介するためにインタビューをすることを楽しみ、インタビューをした内容を伝えようとしている。	【話・聞】 ・インタビューをして聞き取った内容を整理し、一文にまとめて友達を紹介している。		■インタビューをする。 ■人物紹介をする。
	五年生の国語学習を始めよう							
		ふるさと あめ玉	3 読③	○場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、それが表れるように音読することができる。(中学年 読(1)ア) ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化・情景などについて、想像しながら読むことができる。(中学年 読(1)ウ) ・文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(伝国(1)イ(キ))	・これまで学んできたことを確かめたり、「五年生の学習に生かそう」を読んだりして、これからの学習の見通しをもとうとしている。	【読(3・4年)】 ・場面の様子が表れるように、読む速さ、強弱、声の調子、間の取り方を考えて音読している。 ・人物の役割、行動、位置関係など、正確に読み取るべきことを確かめている。	・物語の構成について理解している。	■音読する。
	1 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう							
		なまえつけてよ	4 読④	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えて、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合ったり深めたりすることができる。(読(1)エ・オ) ・文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。(伝国(1)イ(オ))	・自分の体験をもとにするなど、想像して読もうとしている。	【読】 ・登場人物の心情の変化や登場人物どうしの関係、場所、時、背景を読み取っている。 ・他者の感想との共通点や相違点を確認し、一人では気づけなかったことを確認している。	・語句と語句との関係を理解しながら文章を読み取っている。	■感想を伝え合う。
	漢字の広場①	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ)	・絵に描かれているものの様子について、教科書中の言葉を使いながら分かりやすく説明しようとしている。	【書】 ・図書館の人の立場になって説明する文を書いているかどうかを確かめている。	・提示されている漢字を文の中で正しく使い、絵について説明する短文を作っている。	■絵を説明する文章を書く。	
	春の空	2 書②	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。(伝国(1)ア(ア)・イ(カ)) ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。(書(1)ア)	・春を表す言葉に興味をもっている。	【書】 ・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・新聞に興味をもち、新聞の面や記事の構成を確認しながら読もうとしている。	・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。	■感じたことを文章にまとめる。 ※国語に関する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
前期	4			・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。(書(1)カ)		・書いた文章を読み合い、表現のしかたに着目して助言している。			
		新聞を読もう	3 読③	◎複数の新聞記事を読み比べることの意味や効果を知ったり、見出しやリードから要旨を捉えたりすることができる。(読(1)イ・ウ, 伝国(1)イ(キ))	・新聞に興味をもち、新聞の面や記事の構成を確認しながら読もうとしている。	【読】 ・発信者の違いによって、内容や表現が違うことを理解している。 ・見出しや写真の工夫などによる効果を理解しながら読んでいる。	・文章の構成の一つとして、新聞記事のもつ構成に気づいている。	■編集のしかたや記事の書き方に注意して、新聞を読む。 ※情報を収集し、取捨選択し、関連づける。(社会, 日常生活)	
	5	漢字の成り立ち	2 伝国②	◎漢字の成り立ちについて理解することができる。(伝国(1)ウ(イ))	・漢字の成り立ちについて、進んで漢字辞典で調べようとしている。		・漢字の成り立ちについて知り、会意文字・形声文字について調べている。		
	2 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう								
			見立てる 生き物は円柱形	7 読⑦	◎要旨を捉えて自分の考えを明確にしながら読み、筆者の考えや文章の書き方についての感想を発表し合って、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)ウ・オ) ・例の挙げ方や文末表現の役割について理解することができる。(伝国(1)イ(オ))	・文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えの進め方に対して自分なりの考えをもとうとしている。	【読】 ・筆者が話題としていることや主張していることを読み取っている。 ・筆者の考えや、考えの進め方について感じたことを、引用したり内容を要約したりしながらまとめている。	・語句と語句の関係に気をつけて、筆者の考えの進め方を読み取っている。	■筆者の考えを捉え、自分の考えを発表する。 ※人や他の動物の体に目を向けさせる題材(理科) ※生き物やものを図形として捉える見方を提示する題材(算数) ※自然への畏敬の気持ちを育む題材(道徳)
			漢字の広場②	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ)	・絵から場面の様子を想像し、進んで文章を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・提示されている漢字を文中で正しく使い、文章を書いている。	■絵をもとに、物語を書く。
			古典の世界(一)	2 伝国②	◎昔の人のものの見方や感じ方について知ることができる。(伝国(1)ア(イ)・イ(カ)) ○古典の文章を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、文章の内容の大体を知ることができる。(伝国(1)ア(ア)・イ(イ))	・文語の調子を楽しみ、言葉の響きやリズムをつかんで声に出したり感想をもったりしている。		・すらすらと音読している。 ・昔の人のものの見方・感じ方について考えている。 ・時代によって言葉の違いがあることに気づいている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。	■音読する。 ※国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
前期	5	きいて、きいて、きいてみよう	6 話・聞⑥	◎話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。(話・聞(1)ア・エ) ○収集した知識や情報を関連づけ、目的や意図に応じて構成を工夫しながら、適切な言葉遣いで話すことができる。(話・聞(1)イ、伝国(1)イ(ア))	・目的や状況に応じた「きく」という行為について考えようとしている。	【話・聞】 ・目的と意図に照らして、インタビューする内容をあらかじめ考えている。 ・複数の内容を組み合わせて、ひとつながりの話として構成し、話している。 ・聞いた内容を幾つかの観点から比べている。	・話し言葉を記録し、再構成して発表している。	■インタビューをする。 ■インタビューを聞いて、報告する。 ※インタビューによる取材において、目的や意図に応じて尋ねる。／話し手の意図を捉えながら聞く。(社会・総合的な学習の時間)	
	6	敬語	2 伝国②	◎日常よく使われる敬語の使い方に慣れることができる。(伝国(1)イ(ク))	・相手や場面による表現の違いについて考え、進んで発表しようとしている。		・敬語とその3分類を理解し、それらの使い方について考えている。	※相手や場に応じた言葉を使う。(日常生活)	
	本は友達								
			広がる、つながる、わたしたちの読書 千年の釘にいどむ [コラム] 著作権について知ろう	5 読⑤	◎複数の本や文章を読んだ中から、勧めたい本を選ぶことができる。(読(1)カ) ○本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ)	・本を友達に薦めるという活動に興味をもっている。	【読】 ・本を推薦する文章を書いて読み合うことを通して、自分の考えを深めている。 ・本を推薦するために、複数の本を読んだり、読んだ本の中から選んだりしている。		■本を読んで、その本を薦める文章を書く。 ※ものづくりや働くことの価値や意味を理解する精神を養う題材(道徳・総合的な学習の時間) ※読書活動(図書館活用)
			漢字の広場③	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ)	・各教科での学習や学校生活を思い出し、文章を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・提示されている漢字を文中で正しく使い、短文を作っている。	■絵を説明する文章を書く。
	7	夏の夜	2 書②	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。(伝国(1)ア(ア)・イ(カ)) ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。(書(1)ア) ・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。(書(1)カ)	・夏を表す言葉に興味をもっている。	【書】 ・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・書いたものを読み合い、表現のしかたに着目して助言している。	・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。	■感じたことを文章にまとめる。 ※国語に関する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	7	3 事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう 次への一歩——活動報告書	10 書⑩	◎文章全体の構成の効果を考え、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、表現の効果などについて工夫することができる。(書(1)イ・ウ・オ・カ, 伝国(1)イ(キ))	・学校での活動を振り返り、今後をよりよくするために活動報告書を書こうとしている。	【書】 ・活動報告書の書き方を理解し、型に沿って書いている。 ・活動報告書の書き方を理解し、必要な内容を考えている。 ・目的に照らして、軽重をつけたり取捨選択をしたりしている。 ・適切な表現を意識して書いたり、目的や読者に立ち返って読み返したりしている。 ・書いたものを読み合い、表現のよさを見つけて意見を述べている。	・活動報告書の構成を理解している。	■活動を報告する文章を書く。 ※学校行事や委員会活動などの特別活動を見直す。(特別活動) ※活動を報告する。(社会・理科・総合的な学習の時間)
	8	からたちの花	1 読①	◎自分の思いや考えが伝わるように音読するとともに、優れた叙述について、自分の考えをまとめることができる。(読(1)ア・エ, 伝国(1)イ(カ)) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(伝国(1)イ(ケ))	・言葉の繰り返しや五音・七音の調子を楽しみ、音読しようとしている。	【読】 ・音読を工夫し、理由を説明している。 ・感想をもち、根拠を話している。	・語感や言葉の使い方に対する感覚などに関心をもっている。 ・比喩や反復の効果に気づいている。	■言葉のリズムを味わいながら音読する。
		カンジ博士の暗号解読	2 伝国②	◎クイズを通して同じ音の漢字を書き分けるとともに、5年生までに学習した漢字を読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(ア))	・同音の漢字に興味をもち、進んで問題に取り組もうとしている。		・漢字辞典や国語辞典を活用しながら、問題を解読している。	
9	日常を十七音で	3 書③	◎言葉の選び方や表現の効果について、確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(カ)) ○作った俳句を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。(書(1)カ)	・俳句を読み、感想を話したり自分で作ろうとしたりしようとしている。	【書】 ・言葉の選び方や順序について、確かめたり工夫したりしている。 ・よりよくするために助言し合っている。	・語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもちながら俳句を作っている。	■俳句を作る。	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	9	和語・漢語・外来語	2 伝国②	◎和語・漢語・外来語の由来を理解し、語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(エ)(カ))	・和語・漢語・外来語の由来を知り、言葉の種類や使い分けに興味をもっている。		・和語・漢語・外来語の使い分けを確かめながら、読んだり書いたりしている。 ・和語・漢語・外来語それぞれの語感について考えている。	
		4 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう						
	10	明日をつくるわたしたち [コラム] 意見が対立したときには	1 4 書⑧, 話・聞⑥	◎話題を決めて、収集した知識や情報を関連づけ、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。(話・聞(1)ア・オ) ◎自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書くことができる。(書(1)ア・イ・ウ・カ) ・語感, 言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	・問題について調べ、解決のための提案書を書くということに関心を持ち、問題に関する情報を集めたり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	【話・聞】 ・収集した知識や情報を関連づけて話し合っている。 ・話題に対する自他の考え方、感じ方の違いを知り、それを表している。 【書】 ・インターネットによる情報収集の方法を知り、幾つかの方法を用いて情報を集めている。 ・提案書の構成を明確にして、書いている。 ・事実と感想, 意見を区別して、目的や意図に応じて提案書を書いている。 ・書いたものを読み合い、よりよくなるよう推敲している。	・言葉から受ける感じや、言葉の使い方について関心を持ち、説得力が増すように表現を工夫している。	■自分の考えをまとめて、協議する。 ■自分たちの身の回りの問題について調べ、解決するための提案書を書く。 ※詳しく知りたいと思うことを調べる。(社会・総合的な学習の時間) ※意見と理由を説明する。(社会・総合的な学習の時間)
	漢字の読み方と使い方	2 伝国②	◎複数の音をもつ漢字の読み方と、特別な読み方をする言葉(「付表の語」)について理解し、知識をもつことができる。(伝国(1)ウ(ア))	・漢字の読み方や使い方に興味をもって教科書を読んだり、漢字辞典で調べたりしようとしている。		・漢字には複数の音をもつものがあることに注目し、適切に読んだり書いたりしている。 ・特別な読み方をする漢字や言葉があることを理解し、正しく読んだり書いたりしている。		

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
後 期	10	5 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう 大造じいさんとガン	7 読⑦	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、考えを広げたり深めたりすることができる。 (読(1)エ・オ) ○心情や場面の様子が伝わるように音読することができる。(読(1)ア) ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	・人物の心情や場面の様子を表す表現を味わいながら読もうとしている。	【読】 ・心情や場面の様子が伝わるように音読している。 ・「情景」の意味について理解している。 ・登場人物の心情や動き、情景を表す表現を捉え、自分の考えをまとめている。 ・友達の発表を聞いて、感想を伝え合っている。	・言葉や表現に気をつけて様子を想像している。	■物語の魅力を紹介する。	
	11	漢字の広場④	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ)	・絵からそれぞれの場面を想像し、短文を作ろうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・提示されている漢字を文の中で正しく用い、短文を作っている。	■絵を説明する文を書く。	
		秋の夕暮れ	2 書②	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。(伝国(1)ア(ア)・イ(カ)) ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。(書(1)ア) ・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。(書(1)カ)	・秋を表す言葉に興味をもっている。	【書】 ・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・書いた文章を読み合い、表現のしかたに着目して助言している。	・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。	■感じたことを文章にまとめる。 ※国語に関する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	
		6 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう							
			天気予想する [コラム] グラフや表を読む	6 読⑥	◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 (読(1)オ) ○筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。(読(1)ウ) ・文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。(伝国(1)イ(オ))	・題材、筆者の考え、説明のしかたに興味をもって読もうとしている。	【読】 ・筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取っている。 ・筆者の説明の工夫やその効果が表れている部分に気づき、読み取っている。	・語と語の関係に気をつけることで、文の意味が捉えやすくなることに気づいている。	■筆者の説明の工夫について、考えをまとめて話し合う。 ※図表・グラフと文章を関連させながら、説明されていることを読み取る。(社会・算数・理科) ※天気の変化に目を向けさせる題材(理科)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 1	グラフや表を用いて書こう	6 書⑥	◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。(書(1)ア・ウ・エ, 伝国(1)イ(キ)) ○書いたものを発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。(書(1)カ)	・意見に説得力をもたせるときの、グラフや表の有効性に気づき、書いたものを読んだ確かめようとしている。	【書】 ・社会生活に関わる統計資料から必要な材料を見つけている。 ・自分の考えと根拠などを書き分けている。 ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えを伝えている。 ・他者の文章を読んで、優れた点を具体的に指摘している。	・説得力のある文章を書くための構成やその要素を理解している。	■統計資料を根拠に、意見を書く。 ※理由や根拠を明確にしながら自分の考えを記述する。(社会・理科・家庭科) ※統計資料から分かったことを報告する。(社会・理科・算数) ※調べ学習(図書館活用)
	1 2							
		同じ読み方の漢字 [コラム] 文の組み立て	2 伝国②	◎同訓異字、同音異義語について知り、言葉や漢字への興味を深めることができる。(伝国(1)ウ(ア)) ◎文章中の主語と述語の関係に注意し、文の内容を捉えたり、書き表したりすることができる。(伝国(1)イ(オ))	・漢字や言葉の読みと意味の関係に興味をもち、進んで調べたり考えたりしている。		・同訓異字や同音異義語を集めて、それぞれの意味を調べている。 ・主語と述語を理解し、文をつなげたり、分けたりしている。	
		7 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう						
		百年後のふるさとを守る	7 読⑦	◎目的に応じて、本や文章を比べたり関連させたりして読み、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)イ・ウ・オ・カ) ・文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(伝国(1)イ(キ))	・「伝記」という文章や、そこに描かれた人物の人生に興味をもち、読むことを楽しもうとしている。	【読】 ・伝記の特徴を理解している。 ・自分の経験や考え方と照らし合わせて、描かれている人物や出来事、筆者のものの見方・考え方についての感想をもっている。 ・友達の感じ方、考え方との共通点・相違点を確認している。 ・同じ種類の本や文章から、目的に応じ、より適切なものを選んでいく。	・同じ種類の本や文章を読み、「伝記」のもつ構成について気づいている。	■伝記を読み、自分の生き方について考える。 ※自分の生き方を考えさせる題材(道徳) ※自分の郷土に目を向けさせる題材/防災の意識を養う題材(総合的な学習の時間) ※関連読書(図書館活用)
		古典の世界(二)	1 伝国①	◎漢文を音読し、漢文特有の言い回しやリズムを味わうとともに、文章の内容の大体を知ることができる。(伝国(1)ア(ア))	・漢文特有の言い回しやリズムを楽しみながら声に出して読もうとしている。		・すらすらと音読している。	■音読する。 ※国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
後 期	1 2	分かりやすく伝える	3 書②, 伝国①	◎語感, 言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ)) ○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(伝国(1)イ(キ)) ・表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ)	・分かりやすい文章を書くために気をつけることを知り, 文章を書き直そうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめ, 分かりやすい文章を書いている。	・相手に応じて言葉を選んだり, 主語・述語の対応や一文の長さに気をつけたりしている。		
	1	詩の楽しみ方を見つけよう	2 読②	◎内容や描写を捉え, 優れた叙述を味わいながら, 自分なりに工夫して音読したり, その詩のよさを楽しむ方法を考えたりすることができる。(読(1)ア・エ) ・詩に用いられている表現の工夫に気づくことができる。(伝国(1)イ(ケ)) ・語感, 言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	・詩の内容や表現のおもしろさを楽しみながら読もうとしている。	【読】 ・詩の内容が伝わるように音読している。 ・優れた表現に着目し, 気に入った詩を見つけている。	・比喻などの表現の効果に気づき, 語感や言葉の使い方に関心をもっている。	■詩の楽しみ方を見つける。 ※関連読書(図書館活用)	
	8 事例と意見の関係をおさえて, 自分の考えをまとめよう								
			想像力のスイッチを入れよう [コラム]直接対面しない相手とのやり取りでは	6 読⑥	◎事実と感想, 意見との関係を押さえて, 自分の考えを明確にして読むことができる。(読(1)ウ) ○筆者の考えに対する自分の考えを伝え合い, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ) ・語感, 言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	・題材に興味をもち, 自分の知識や経験などと関係づけながら文章を読んでいる。	【読】 ・文章構成を把握し, 事例と筆者の考えを整理しながら読んでいる。 ・筆者に対する自分の考えをまとめている。 ・友達の感じ方や考え方との共通点・相違点を確認している。	・語感や言葉の使い方に対して関心をもち, 読んでいる。	■意見を述べた文章を読み, 自分の課題解決に生かす。 ※メディアとの関わり方を理解させる題材(総合的な学習の時間・日常生活)
		漢字の広場⑤	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き, 文や文章中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いたものの表現について, 確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ)	・絵から案内する道順を考え, 文を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・提示されている漢字を文の中で正しく使い, つなぎ言葉を使って短文を作っている。	■絵を説明する文を書く。	



学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1	見るなのざしき	1 読①	◎読み聞かせを聞きながら、登場人物の行動を中心に、場面の様子に想像を広げることができる。(読(1)エ) ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	・人物や場面の様子を想像しながら聞こうとしている。	【読】 ・読み聞かせを聞いて、登場人物の心情や場面の様子を捉えている。	・読み聞かせを聞いて、昔話に特有の語や表現に気づいている。	■昔話の読み聞かせを聞く。
		すいせんします	6 話・聞⑥	◎考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報に関係づけることができる。(話・聞(1)ア) ◎目的や意図に応じて、事例が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。(話・聞(1)イ) ・話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア))	・事物や人物を推薦するための事柄に気づき、話したり聞いたりしながら確かめようとしている。	【話・聞】 ・目的や条件に照らして、推薦する内容を考えている。 ・収集した情報を整理・分析し、推薦する理由として考えをまとめている。 ・聞き手が納得できるように内容を構成している。 ・声の強弱・速さ・間の取り方などを意識して話している。	・話し言葉と書き言葉の、働きや特徴の違いに気づいている。	■理由を明確にして、推薦したり、それを聞いたりする。 ※事物や人物を推薦し、取材の対象などを検討する。(社会・総合的な学習の時間)
	2	複合語	2 伝国②	◎語句の構成、変化などについての理解を深めるとともに、語句の由来などに関心をもつことができる。(伝国(1)イ(エ)) ・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・複合語のおもしろさに興味をもち、言葉を集めて国語辞典で調べようとしている。		・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いています。 ・複合語とは何かを知り、組み合わせ方を理解し、幾つかの組み合わせ方の複合語を集めている。	
	冬の朝	2 書②	◎古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。(伝国(1)ア(ア)・イ(カ)) ○昔の人のものの見方や感じ方を参考に、自分が感じたことを文章に書き表すことができる。(書(1)ア) ・書いたものの表現のしかたに着目して助言することができる。(書(1)カ)	・冬を表す言葉に興味をもっている。	【書】 ・言葉が表す感覚や様子を理解し、それを使って文章を書いている。 ・書いた文章を読み合い、表現のしかたに着目して助言している。	・大体の意味や情景を思い浮かべている。 ・語感や言葉の使い方に関心をもっている。	■感じたことを文章にまとめる。 ※国語に関する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	
	9 特色をとらえながら読み、物語をめぐって話し合おう							
		わらぐつの中の神様 [コラム] 方言と共通語	7 読⑥, 話・聞①	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。(読(1)エ)	・心に残る言葉、文章、情景や、全体の構成を楽しんで読もうとしている。	【読】 ・会話や心情表現、行動を表す語や文に注目し、登場人物どうしの関係、人物像などを読み取っている。	・文章にさまざまな構成があることに気づき、その効果について意識している。	■物語を読んで、自分の考えをまとめ、話し合う。

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	2			○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むことができる。(読(1)カ)		・「題名」「構成」「表現」の観点で他の作品と読み比べ、類似点や相違点に気づいている。 【話・聞】共通語と方言との違いを理解し、言葉を使い分けて話している。		※ものづくりや働くことの価値・意味を理解する精神を養う題材(道徳・総合的な学習の時間)
	3		○共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すことができる。(話・聞(1)ウ) ・物語に用いられている表現の工夫に気づくことができる。(伝国(1)イ(ケ))					
		一まいの写真から	5 書⑤	◎写真から想像を広げて、物語に書くことを考え、文章全体の構成や表現を工夫して物語を書くことができる。(書(1)ア・イ・オ) ○書いたものを発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。(書(1)カ) ・物語にはいろいろな構成があることを理解することができる。(伝国(1)イ(キ))	・写真に興味をもち、物語を書こうとしている。	【書】 ・集めた材料を整理して、必要なものを選んでいる。 ・いろいろな文章の組み立てに気づき、目的・効果といった点から組み立てを選んで書いている。 ・表現の効果などを確かめている。 ・他者の文章を読んで、優れた点などを具体的に指摘している。	・物語の構成に気づいている。	■物語を書く。 ※感じたこと、想像したことなどから、表したいことを見つけて表現する。(図画工作)
		漢字の広場⑥	1 書①	◎4年生までに配当されている漢字を書き、文や文章中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ○書いたものの表現について、確かめたり工夫したりすることができる。(書(1)オ)	・絵から出来事を想像し、文や文章を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・提示されている漢字を文中で正しく使い、短文を作っている。	■絵を説明する文を書く。
	六年生になったら	1 書①	◎考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を集めることができる。(書(1)ア) ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	・「6年生になったら」というテーマで、自分の思いを進んで文章に書こうとしている。	【書】 ・テーマに即して、書きたいことを集め、決めている。	・語感や言葉の使い方に対して関心をもっている。	■自分の思いを伝える文章を書く。	
学習指導要領の配当時数			175					予備時数  0
国語の配当時数			145					
書写の配当時数			30					